



『世代交代』

会長 堀 清志

去年は就職活動でした。そう、僕もついに社会人となるわけです。原稿執筆段階で卒業論文の口頭試問を控えているのであくまで仮定の話ですが、就職先は東京です。

こいいものを開ければ問題はないかもしれませんが、やはり会議は生身の人間がガチでやっつてこそだと思えます。「では、またもや会長変更か？」：待望していた人には残念、しばらく僕が続けるつもりです。さてさて、話が混沌としてきました。会議を開けないヤツが会長でどうするというのか。

実は、そのために昨年の総会で新たな役員を設置することの承認をいただきました。「議長」という役職です。この役職、会長の会議を開く権限をそっくりそのまま与えられたものでして、基本的に今後の同窓会の会議は議長が主催するわけです。会議を主催する以上は、同窓会運営の主導権は実質的に議長に移ると思えます。現場を知らない会長が何を言ってもしょうがないですからね。世代交代というやつです。



編集・発行
宮城県宮城野高等学校
同窓会事務局
〒983-0021
仙台市宮城野区田子2-36-1
ホームページ
<http://miyagino-highschool.com/entrance.html>
E-mail
info@miyaginohighschool.com
第10号
2007年3月1日発行
題字：田代ひとみ先生

他にも必要に応じて設置された役職があります。本誌でも紹介しておりますので、見てみてくださいね。それに伴って会則も変更されていきますよ。

まあ、同窓会もそれなりに頑張ってますので、：と言ったら他のメンバーに怒られそうですが、ミヤギノを巣立った皆さんも草の根活動を頑張ってください。もし本誌「たんぼほ」の編集員が取材に行ったら、温かく迎えてやってください。僕が本誌の編集員を務めるのは今回が最後なので、ちょっと感傷的になってますが、今後とも「たんぼほ」のご愛読をよろしくお願いたします。

創立十周年記念事業のために献身的に尽力いただいた実行委員会が、昨年十月二十八日をもって解散いたしました。P4に最終の事業、決算報告書を掲載させていただきましたのでご確認ください。

パブリックアート

校長 荒 伸二



昨年十周年記念式典並びに諸事業等を諸先輩方のご支援のもと無事に終えたところですが、今年には美術科卒業制作展が丁度十回目となりました。これもまた、節目と捉え卒業期間中の十二月九日に女子美術大学教授北川フラム氏をお招きし、記念講演会を開催したところでした。

地帯に新たな活力を生み出しました。十日町市内と津南町内で三年に一度開催され、三回目になるそうです。参加したのは世界六十四カ国の作家、そして地域の作家等。現代アート三三七点が再生した廃校や廃屋、棚田に展示され、来場者は三十万人余り、里山を背景に敢えて作品を分散させ作品を探し回るといふ仕掛けが意外に観る人を引き付け、予想を上回る効果となりました。

演題は「パブリックアート」について。越後妻有アートトリエンナーレ「大地の芸術祭」を事例に造型作家が村づくり、町づくりなどに一役買い、地域興しをするというものです。この催し、北川氏が新潟県から頼まれ、九十七年妻有地域で大規模な芸術祭を提案、地元と首都圏の学生がイベントに協力することで過疎の豪雪

このようなイベントに限らず、ものごとを繋いだり立ちしたりする人材はこれからもっと必要になってくるでしょう。更に「協働」がこれからの時代に求められるでしょう。北川氏は場面に応じて身構えなくても参加することで社会貢献できることを証明したといえます。



第四回 同窓会総会・懇親会開催!!



宮城県宮城野高等学校は今年で創立12周年を迎えます。今年には新たに約280名が同窓生として加わる予定で、これをもって宮城野高校の卒業生は約3000名以上を数えます。すでに社会でご活躍されている方、学業や技術向上に励んでいる方、道を模索している方等、様々いることと思います。しかしいずれの分野においても、同じ場所、同じ時を過ごした宮城野生としてのつながりは大きな意味を持つのではないのでしょうか。

同窓会組織では、そうしたつながりを絶やしてしまわないよう様々な取り組みを行っています。そのひとつにこの総会、懇親会があります。

総会は、宮城野の同窓会役



員たちが、予算・事業案の承認を得たり、卒業生が、卒業後に行ってきた活動を報告する場として設けられています。また懇親会は、各回生の交流をねらいとして総会の度に開催されています。これらは二年に一度は必ず行われ、実行委員は主に地元の同窓生を中心に組織されています。尚、今回はたまたま二年連続という形になり、同窓会役員一同慌しい動きとなりました。

平成十八年、九月三日、宮城野高校にて第四回目となる同窓会総会・懇親会が開催されました。午前中には大講義室にて総会が行われました。事業報告や会則変更等様々な話し合いがなされ、若い世代の発言も目立っていたように



思います。在校生支援や卒業生企画支援についてなど、宮城野生としての今後のつながりを更に強めていくような実りある話し合いであったといえるでしょう。

午後の懇親会は、食堂にて行われ、よく晴れた青空の下、食堂に面した中庭まで会場を拡げ、開放感に溢れた良い雰囲気の中で進行していきました。今回は前回に比べ、規模としては小さなものであった上、残念ながら先生方の姿は見られませんでした。再会を懐かしむ声は、前回と変わらざいいたるところで聞くことができました。更に会場では各回生の在学当時の様子を収めたビデオが上映されたり、10周年記念事業でもお世話に



なつた5回生横山舞さんのスィーツが振舞われたりと、彼らの談話に花を添えていました。前回と同様に様々な人々の協力により、両会を無事に終えることができました。

我々の取り組んでいる活動というのは、勿論総会、懇親会を終えて終わりではありません。こうした集まりがこの先もずっと続いていくようにするのが、我々同窓会役員の使命です。その点で、十回生を迎えたとは言え、我々の活動はまだ黎明期にあるのではないのでしょうか。尚会は、これから創られる宮城野高校同窓会の長い歴史を担う者としての自覚を促してくれるのに十分な会であったと思います。

*注) 下線部が変更点

第 5 条 (役員) 本会に次の役員をおく。

- 1 顧 問 若干名
- 2 参 与 1 名
- 3 会 長 1 名
- 4 副 会 長 5 名
- 5 議 長 1 名
- 6 副 議 長 2 名以上
- 7 常任幹事 各年次 1 名以上
- 8 監 事 2 名
- 9 事 務 局 若干名

会則変更 のお知らせ

第 6 条 (役員を選出) 会長および副会長は総会にはかり、正会員より選出する。議長・副議長・常任幹事および監事は正会員より会長が委嘱する。事務局は正会員または特別会員より校長が推薦し、会長が委嘱する。顧問は歴代会長を会長が委嘱する。参与には現校長を推戴する。

第 8 条 (役員の仕事) 会長は本会を代表し、会務を総括する。副会長は会長を補佐し、会長に事故ある時はこれに代わる。議長は本会の会合を総括する。副議長は議長を補佐し、議長に事故ある時はこれに代わる。常任幹事は本会の庶務・会計その他諸般の会務を掌理する。監事は本会の会計を監査する。

第 11 条 (役員会) 役員会は随時会長または議長が召集し、会務の執行に関する事項を審議する。

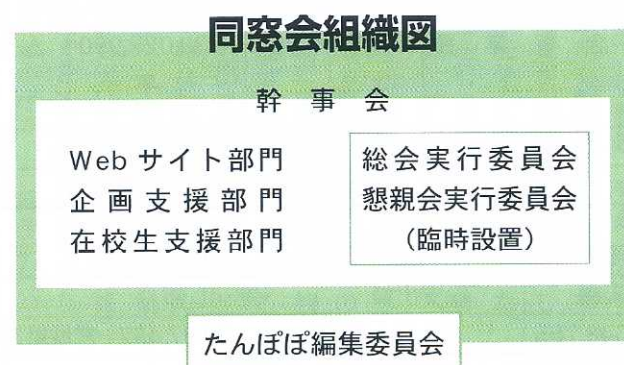
第 12 条 (幹事会) 幹事会は随時会長または議長が召集し、予算、決算その他の必要な会務を審議し処理する。緊急の場合は幹事会の議決をもって総会の議決にかえることができる。

第 13 条 (ホーム幹事) 卒業時に、各ホームより 2 名以上 選出し、会長が委嘱する。

附則 4 終身会費は 5,400 円とし、入学時から 3 年間で納入する。

* 入会金の項目を削除

同窓会 組織図



現在、宮城野高等学校同窓会は「幹事会」を基幹組織として各部門毎に活動を行っています。「Web サイト部門」は同窓会の Web サイトの運営を担当し、「企画支援」は卒業生の各種企画の窓口を担当します。「在校生支援」はできたばかりの部署ですが、その名の通り在校生を支援する活動を行う予定です。以上の三つが常設機関となっています。必要に応じて臨時に設置されるものとしては、隔年の総会と懇親会を主催する「総会実行委員会」と「懇親会実行委員会」があります。これらは基本的に幹事会メンバーを構成員としています。「たんぼぼ編集委員会」は同窓会誌の発行を担当し、必ずしも幹事会メンバーが構成員ではありませんが、同窓会の重要な機関となっています。



創立10周年記念事業実行委員会決算報告書

1 収入の部

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	残 額	摘 要
1 会 費	50,700,000	50,622,000	△ 78,000	@ 6,000 × 延 8,437 名
2 祝 賀 会 費	1,809,700	1,809,700	0	@ 6,000 × 304 名 振込手数料△ 14,300
3 雑 収 入	180,000	217,065	37,065	普通預金利息 42,793 定期預金利息 31,835 開校記念式典残金 142,737
合 計	52,689,700	52,648,765	△ 40,935	

2 支出の部

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	残 額	摘 要
1 事 務 局 費	1,500,000	1,006,882	493,118	
(1) 会 議 費	300,000	42,800	257,200	準備委員会・実行委員会会場借用料他
(2) 旅 費	500,000	523,500	△ 23,500	実行委員会会議・打合せ等旅費
(3) 需 用 費	400,000	18,358	381,642	実行委員長印・封筒用ゴム印代他
(4) 通 信 運 搬 費	100,000	46,510	53,490	実行委員会開催案内用郵送料
(5) 雑 費	200,000	203,934	△ 3,934	印刷用消耗品、故人への感謝状他
(6) 準備委員会支出分	0	171,780	△ 171,780	準備委員会会議費、開催案内郵送料他
2 式 典 費	7,600,000	5,919,573	1,680,427	
(1) 記 念 式 典	7,600,000	5,803,023	1,796,977	記念講演講演料等 735,840 記念品代 2,137,100 式典等案内状印刷発送 654,525 式典のしおり 281,085 他
(2) 準備委員会記念式典	0	116,550	△ 116,550	記念式典会場使用料前納金
3 祝 賀 会	3,809,700	3,128,794	680,906	
(1) 祝 賀 会 費	3,809,700	3,128,794	680,906	祝賀会費 2,263,716 祝賀会のしおり等 118,755 演奏者への謝礼 100,000 他
4 記 念 誌	7,000,000	4,026,659	2,973,341	
(1) 記 念 誌	7,000,000	4,206,659	2,973,341	記念誌 3,255,000 記念誌・同窓会名簿等発送費 686,000 他
5 事 業 費	28,000,000	33,022,990	△ 5,022,990	
(1) 記 念 事 業 費	28,000,000	33,022,990	△ 5,022,990	太陽光発電装置・エアコン設置 28,000,840 ジェットヒーター 881,370 音響設備 1,018,500 校歌板一式 2,698,500 うちわ作成 158,340 他
6 予 備 費	4,780,000	346,410	4,433,590	記念企画「ミヤギノラウンジ」229,485 他
合 計	52,689,700	47,451,308	5,238,392	

3 収支残高

(単位：円)

総収入額	総支出額	差引額	摘 要
52,648,765	47,451,308	5,197,457	宮城県宮城野高等学校教育振興会特別会計へ移譲

監 査 報 告

通帳及び関係書類を監査したところ、いずれも適正に処理されていることを報告します

平成18年10月31日

監事 小林立雄



監事 山路京子



上記の決算報告書について確認いたしました。

平成18年10月31日

実行委員長 伊藤政治



佐藤光蔵先生を偲んで

(平成十年四月〜平成十四年三月宮城野高校在籍)



宮城野高校で、四年間に渡り私達を支えてくださった佐藤光蔵先生が、2006年6月19日、くも膜下出血のため、お亡くなりになりました。56歳でした。

30年にわたって教職に携わり、精力的に活動なさっておりました。今後の更なるご活動が期待される中での突然のご逝去となりました。同窓会一同追悼の意を表したいと思います。

光蔵先生は1949年7月27日に、岩沼でお生まれになりました。仙台第一高等学校を卒業後、宮城教育大学へと進学。専攻教科を化学として教員免許を取得され、東北大学を経て教員となりました。南郷農業高校、白石高校、仙台東高校で教鞭をとり、宮城野高校には平成10年から平成14年まで在職されました。その後、泉松陵高校で勤務される中での不幸となりました。

先生の個性的な授業内容や歯に衣着せぬ物言いは、多くの同窓

生の記憶に刻み込まれているのではないのでしょうか。宮城野高校での元気なお姿が、昨日のこのようにありありと思ひ出されます。

今回、光蔵先生の奥様の佐藤和歌子様にお話を伺うことができました。お話の中心は先生の、

自らの専門の化学のみにとどまらない、幅広いご趣味に関するものでした。ご愛用のパイプをふか

しつ、特に読書に没頭するお姿が家族の方には特に印象深いものとなつていそうです。また他にも、カメラ(本頁に使用されている写真は、光蔵先生ご本人がお撮りになったものです。)や音楽、自動車、映画などに興味をお持ちだったようで、特に本や模型などは未だにご自宅に残されているものが多くあるようです。

先生の活発な側面はスポーツにもよく表れ、宮城県水泳連盟第一種公認競技役員及び情報処理担当として、インターハイ宮城大会に携わるなど、特に水泳に對する思い入れが強かったようです。

ご協力頂いた奥様にはこの場を借りて、改めてお礼を申し上げます。光蔵先生のご冥福を深くお祈り申し上げます。

【光蔵先生を偲ぶ一文】

4 回生 受け持っていた、だいた期間は少しはありましたが、快く教材を貸していただいたりなどお世話になりました。今頃は好きな煙草を吸っていらっしやる事でしょう。ご冥福をお祈り致します。

4 回生 突然の悲報に接し、ただだ驚いております。授業の折の嬉しそうにゴジラの話を読んでいた独特の口調が懐かしく思い出されました。在りし日の姿を偲び、心からご冥福をお祈りいたします。

4 回生 光蔵先生は、髭や眼鏡はもちろん、渋いお声も印象的でした。ご冥福をお祈りいたします。

4 回生 佐々木寛 佐藤光蔵先生は化学の授業でお世話になりましたが、話し方がとても印象的な方でした。このたび突然

のご訃報に信じられな いですが、光蔵先生



の在りし日のお姿を偲び、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

5 回生 伊藤恵 光蔵先生特有の眠気も醒めるような大音声での授業が大変印象的で、楽しく化学を学ぶことができました。ご冥福を心よりお祈り申し上げます。

5 回生 突然の悲しいお知らせにとても驚きました。情報の授業が特に苦手だった私に、放課後最後まで教えて下さったことが思い出されます。ご冥福をお祈りいたします。

5 回生 平岡和 先生の授業はいつも笑いにあふれ、先生は照れ屋でとても温かい人でした。先生のおかげで、一番苦手だった化学を今、私は大学・大学院にて専攻しています。多くの影響を与えてくれた先生。感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。

6 回生 正直、化学はさっぱり分からず、毎回のテストでは赤点を取らないことだけを目標にしている程でしたが、光蔵先生のある人柄はとても好きです。少人数しかいない授業でしたが楽しかったです。ありがとうございます。

6 回生 光蔵先生には3年間化学でお世話になりました。化学が苦手だった私たち人文の生徒にも丁寧に教えてくださいま

した。

イオ ン化 傾向 など さま さま な ユー モア 溢れる覚え方が印象的で今でも覚えています。



7 回生 高校1・2年生と大切な時期に化学の授業を受けさせていただきました。時に、教師とは思えない言葉で叱咤していただいた思い出、その度に教室に笑いが、楽しかったあの授業、決して忘れません。

8 回生 岩井詩穂 化学は苦手でしたが、光蔵先生は大好きでした。素敵な先生ありがとうございます。ご冥福をお祈り致します。

旧職員 伊藤尚宏先生 突然の訃報に驚き、また大変残念です。光蔵先生と言えば、ヒゲをたくわえた風貌が、今でも思い出されます。心より御冥福を御祈りいたします。

石川武彦先生 茶目つ気があって、遊び心いっぱいだった光蔵先生、さようなら。師匠のような人がいなくなり、とても寂しいです。ご冥福を祈ります。

宮城野に舞い戻ることについて



七回生 高橋

海うみ

私の家は宮城野高校からほど近いところにあつて、自転車とせば7分で到着できる。登校すれば校庭の脇の木々は四季折々の表情を見せてくれたものだ。在学中は毎朝それを見るのが日課だったように思う。思いがけず、今年の6月に私は以前の日課を繰り返すことになった。母校に教育実習生としてお世話になることになったのだ。いろいろなることを学べた場所に自分が(実習生とはいえ)「先生」と呼ばれる立場として舞い戻ると思うと何やらくすぐったいような、恥ずかしいような変な気分になってしまう。



「友人と企画をして、その中で提出した作品です。鉄で作りました。作品を作ること、社会と自分、素材と地球、いろいろな問題に気づかされた思い出の作品です。東京ローカルの新聞にも取り上げてもらいました!」

きつとそこには、かつての私のように大学受験や美術やデッサンや卒業制作やアイデンティティ何やらで青臭くも生真面目に悩んでいる集団がいるだろう。あの楽しかった馬鹿なことをしては大笑いしていた時間を味わっている贅沢者がたくさんいる。タイムスリップして過去の自分たちに会いに行くのがとても楽しみである。

その高校を卒業してからも相変わらず私はとてつもなく青臭いし、すぐ落ち込んだり感動していたりする。経験値が少々増えただけで急に悟りが開けたでもない。高校時代

の自分が見たらがっかりするような有様である。しかしそんな残念な感じの私の隣には相変わらず高校時代からの友人がいる。みんなそれぞれに尊敬できる人たちだ。私の心の中には宮城野で出会えた恩師の言葉が生きている。今更になって、在学時に言われた

通学中に考えること



九回生 佐藤 公美

大学に入って、駅から三十分かけて歩きながら、日々さまざまなことを考えています。それは高校の時と変わらずぐちゃぐちゃだけれど、私にとって大切な時間になっています。

大学生になって初めてバイトを始めた私は、世の中が人の労働によって成り立つことを実感しました。私の周りにある全てのものが、誰かの手で作られたものであるという当たり前のことが、とても新鮮に思えました。一方、自分が資本主義という歯車の小さなひとつに組み込まれ、自分の意思などほぼ必要のない状

況で働くことに強烈な違和感も覚えました。ということ、私の周りにはいくつものものは、失礼だけど私のようにプライドも持たずに仕事をした人による不確かなものなのかなあとも思いました。いろいろな意味で一歩大人になったような気がしました。

私の場合、大学は予想以上に暇です。十一月まではあり余る時間を全く無駄に過ごしてしまいました。楽だけれど単調な日々でした。でも飽きてきました。お金は無駄遣いできないので頭を使うしか方法がありません。そういえば文ボラをしていた頃の情熱も

ことが響いてくるのだ。大学では彫刻を勉強している。授業の内容も主なところは創作活動で、家とアトリエを往復の毎日だ。しかし今は美術教育を勉強したいと思っている。少し前までは考えもなかったことだ。宮城野時代に先生から「お前は教師に向いている」といわれたことがある。その言葉を当時はなんだからうつつとうしく感じていたが、今は背中を押してくれている。

教育実習、充実したものでなりそうである。

むくむく再燃してきたので、同じ教育学部の友達と「語りサークル」のようなものを立ち上げました。教育問題だけじゃなく世の中のことについて広く議論していこうと思っっています。そしていつか、そんなサークルがなくても食堂や教育で熱く議論できる大学生になりたいです。大学は高校以上に自分の活動次第で動く場所です。同じように、心の中に歩み寄っていかなければ人の魅力もわからない。歩く私の横を通っていく車の排気ガスを吸い、広瀬川の美しさに驚きながら、突然、自分から何かするということは、何かとてつもなく大事な人生のキーワードであると気づきました。

私の大学生活は、まだ始まったばかりです。

近況雑感

宮城県宮城野高等学校

半沢道子先生

同窓生の皆さん、お久しぶりです。お元気ですか。高校を卒業して世の中に出ていくと、途端に世界が広がって、高校時代があつという間に霞んでしまうでしょう。その昔、私も大学生になつたとき、数ヶ月大学の講義を受けただけで、高校の授業は十年前くらいに受けたような思いをしたものです。過日、M大に進んだ卒業生二人が、建造物(教育施設の構造・意匠等のレポート)を書くため、本校を見学していきました。一、二年前まで在学していた高校を「見学する」というのも、奇妙なことかもしれません。大学で専門的な勉強をした視点で、改めて「宮城野高校」の建物を観察し、在学時には気づかなかつたことを発見したりしていたようです。一緒に校内を歩き回りながら、彼女たちが高校卒業後に過ごした時間の内容的凝縮度やスペースシヤトル並みの速度を想像し、嬉しくもあり、羨ましくもあるひとときを過ごしました。「建物」はともかく、その中身、在校生たちは……。

私の宮城野在職七年間を振り返つてみますと、生徒一人ひとりの二年間の成長の総体が「宮城野」という惑星を作り上げていくという思いがします。赴任当時すでに開校六年目を迎え、草創期の理念や方針も、社会的・人的な要因で揺れが生じていたようにも思えました。卒業生の「最近の宮城野は変わった」という声が開聞こえてくるたびに齟齬感を覚えましたが、でもそれは、ここで過ごした日々の充実感と表裏一体を成す感情なのではないかと考えています。なにしろ、シヤトル並みのスピードで広がっていく皆さんですから、大気圏外から眺めれば様相も変わります。在校生たち、元気ですよ。よく学習に励み、生徒自治活動もしっかりしてききました。来年度の体育祭、文化祭、サークルの話し合いも始動しています。

次は私の近況報告です。同窓会会長の堀清志君が、今年度、教育実習生として二週間本校に勤務し、一年次国語を担当しました。力のある授業を拝見し、実習指導担当者として実に多くの勉強をさせていた

だきました。大学で中国語も勉強されている旨、遙か昔私も大学で二年間必修科目中国語を学習した記憶あり。教授の声の

高さについて行けず苦しみましたが、彼に触発されて、「我想去中国。」などと始めました。敦煌、楼蘭、トルファンなどへと、地球

内のことではありますが、夢は宇宙のように膨張し続けています。

「テオリア」出版プロジェクト活動中です



宮城県泉館山高等学校

山上隆司先生



同窓会の皆さんの各分野での活躍をしばしば耳にし、今後の発展を益々楽しみに感じています。

さて、私は昨春から「テオリア」を本にして出版しようという企画を進めています。ある8回生から重ねて勧められ、私もその気になつてボランティアメンバーを募つて活動を始めました。

「テオリア」を知っているのは私の倫理を受けていた5・7・8・9回生だけです。少し説明を要します。生徒たちが自分の考えを投稿用紙に書き職員室の投稿箱に入れる。それを集めて印刷し

授業で配布する。私が少しコメントを加えながらみんなに紹介する。これを平成13年度から3年間続けました。ふだんお互いに考えていることがよくわかる、自分でも考えるきっかけになるといった理由で生徒に好評でした。投稿に対する共感や反論も出て、話題が展開していくのも面白かったです。

私としては思想をただ教える授業ではなく、生徒の日常の問題意識から立ち上げて、思想家の考えをからめながらいろいろ考えてほしいという意図でしたが、素晴らしい発想や豊かな感受性に溢れた投稿が多く、とても魅力的な取り組みでした。3年間の投稿数は実に3600を越えました。個性を大事にし、自分の考えをしっかり持とうと頑張っていた宮城野生にはうつつつけの場だったのだでしょう。

さて、「テオリア」出版プロジェクトの活動ですが、5回生から9回生にわたる広範な人たちが30人ほど集まってくれています。みんな大学生なので5月の連休、夏休み、冬休みというゆつくりしたペースですが、だいぶ形になってきて、この分なら今年中には出版までこぎつけられると思います。様々な疑問や発見、悩みや叫びが詰まっています。高校生がこんなことを考えているんだということ、同じ高校生世代や高校生と関わりをもつ親の世代の方などに発信し、様々な思いに共感したり理解したり、また自ら考えるきっかけにもしてもらえたらという趣旨で編集を進めています。出版された際には、ぜひ手にとって読んでもらいたいという願いをこめて、今みみなで頑張っています。





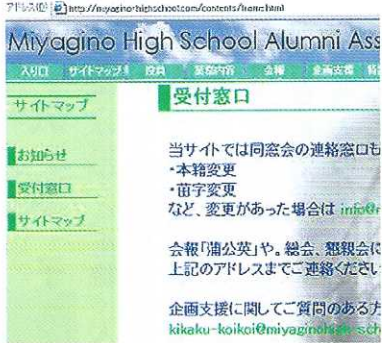
同窓会公式Webサイト 開設以降の動き

私たちは、同窓会のWebスタッフです。主に同窓会のホームページ作成・運営を担当しています。

ホームページは去年新たに開設しました。現在のコンテンツは、総会や懇親会などの行事の様子の紹介、役員の自己紹介、幹事会会議で決定したことの掲示、交流の場として掲示板を設置する、などといったことをやっています。

企画の一環として、宮城野高校に携わった先生のコラム掲載を行っています。ぜひ一度目を通してみてください。また、今年度から企画支援部門と連携し、企画を簡単に投稿できるように、ホームページに投稿フォームを設けました。こんなことをやりたい！という考えがある方は、ぜひ投稿して下さい。

右記の内容は、同窓会内での活動を対象にしたものです。Webスタッフは同窓会外の活動も支援させていきます。活動の内容や、イベントを行う場合は日程やその場所などの詳細を教えてください。



<http://miyagino-highschool.com/entrance.html>

できれば、同窓会ホームページ内に宣伝ページを作成します。また、掲示板を利用して宣伝をしていただいても構いません。質疑応答の場としても利用してください。

最後になりますが、現在ホームページの更新が滞っており、来訪してくださった同窓生の方々には大変ご迷惑をおかけしております。そして、これからも同窓生の皆様に楽しんでいただける「日本一の同窓会サイト」を目指して行きたいと思えます。

平成17年度 宮城県宮城野高等学校 同窓会決算書

(単位：円)

収支対照	収入額	支出額	残額	摘要
	11,883,215	4,793,468	7,089,747	

収入内訳					
項目	日	予算額	決算額	増減	摘要
会費		1,504,800	1,585,800	81,000	@ 1,800 * 830 @ 1,800 * 51(H16未納分)
入会金		280,000	297,000	17,000	@ 1,000 * 284 @ 1,000 * 17(H16未納分) @ 1,000 * 4 (重複納入返金分)
繰越金		10,260,603	9,944,596	-316,007	
雑収入		15,597	55,819	40,222	卒業生返金残金・預金利息
合計		12,061,000	11,883,215	-177,785	

支出内訳					
項目	日	予算額	決算額	増減	摘要
1 総務費		570,000	76,927	-493,073	
(1) 会議費		30,000	1,000	-29,000	名簿編集委員会会議施設使用料
(2) 旅費		100,000	13,400	-86,600	編集委員旅費
(3) 需用費		350,000	9,689	-340,311	プリンターインク代他
(4) 通信費		30,000	50,287	20,287	連絡用切手・郵送料
(5) 慶弔費		50,000	2,551	-47,449	弔電代
(6) 雑費		10,000	0	-10,000	
2 事業費		11,310,000	4,716,541	-6,593,459	
(1) 総会費		0	0	0	
(2) 会報発行費		550,000	335,280	-214,720	会報印刷・送料
(3) 名簿編集費		100,000	3,325	-96,675	同窓会名簿作成に係る郵便料金
(4) 支部助成費		0	0	0	
(5) 卒業式補助費		300,000	249,900	-50,100	卒業証書ホルダー
(6) 10周年記念卒業生企画		200,000	0	-200,000	
(7) 10周年記念名簿作成		5,000,000	4,128,036	-871,964	同窓会名簿及びCD-ROM作成
(8) Webサイト費		360,000	0	-360,000	
(9) 積立費		4,800,000	0	-4,800,000	
3 予備費		181,000	0	-181,000	
合計		12,061,000	4,793,468	-7,267,532	

監査の結果、若募並びに諸書類ともに、正確かつ適正に処理されていることを認めます。

平成 18 年 8 月 31 日
宮城県宮城野高等学校 同窓会

監事 佐々木 愛
監事 井上 貴雄

お知らせ

創立10周年記念 同窓会名簿

について

昨年度に配布した同窓会名簿でいくつか、学校に返送されてきているものがあります。お手数ですが、まだ受け取れていないという方は、宮城野高校までご連絡していただけるようお願いいたします。

スタッフ募集

同窓会では「たんぽぽ」スタッフを常に募集しています。県内在住の方なら大歓迎です!! 仕事は主に原稿執筆者の人選と依頼、本誌のレイアウト等です。少しでも興味のある方はご連絡ください。あなたの力で、同窓会報をもっと豊かなものにしてみませんか。

同窓会報「たんぽぽ」編集委員(片平)連絡先
dogs5086@yahoo.co.jp

編集後記

ご協力いただいた皆様、改めてありがとうございます。今年もなんとかなりました。これからも温かく見守ってやってください。

今回は編集長が優秀だったのですんなりいけました(笑)。やっぱりリーダーは大切ですね。